

鞠智城発掘調査速報

～平成16・17年度の発掘調査成果から～

昭和42年度の第1次調査において石壁の存在が想定された池の尾門跡において、城壁の役割を果たした水門を発見しました。鞠智城跡では初めての発見です。

- 遺跡名称 国指定史跡 鞠智城跡
- 調査の名称 第26、27次調査
- 調査箇所 池の尾門跡
- 調査期間

平成16年7月26日～平成17年3月30日・平成17年6月24日～平成18年3月29日



【池の尾門礎石】

長さ1.43m、幅1.15mの卵型。石材は花崗岩。端部に直径17cm、深さ14cmの軸掘り穴（門扉の軸をはめ込むための穴）。



暗渠にした通水溝の取水口

長さ16.5m以上、内法幅約60cm。内側を平たくした数段の石積みをも側壁とし、その上に長さ1.0m強、幅40cm前後の蓋石を乗せた構造。



土壁の可能性のある盛土遺構

水門より10m城外側の南斜面上において検出。花崗岩の岩盤を鉤状にカットし、基底面に石をバラス状に敷き詰め、その上に盛土する構造。土壁となる可能性がある。



南側土壁線から水門を望む

谷に直交する形で、城外側に前面石列（約2.8m）と城内側に背面石列（約3.0m）を検出。両石列はほぼ平行し、その間、約9.6mが城壁部分。

お問い合わせ

〒861-0425 熊本県山鹿市菊鹿町米原 443-1

熊本県立装飾古墳館分館 歴史公園鞠智城・温故創生館

TEL 0968-48-3178 FAX0968-48-3697

この電子書籍は、鞠智城発掘調査速報 を底本として作成しました。閲覧を目的としていますので、正確な図版は発掘調査報告等、他の書籍から引用してください。

鞠智城跡の発掘調査報告は、熊本県内の市町村教育委員会と図書館、都道府県の教育委員会と図書館、考古学を教える大学、国立国会図書館などにあります。所蔵状況や利用方法は、直接、各施設にお問い合わせください。

書名：鞠智城発掘調査速報

平成 16・17 年度の発掘調査から

発行：熊本県教育委員会

〒862-8609 熊本市中央区水前寺 6 丁目 18 番 1 号

電話：096-383-1111

URL：<http://www.pref.kumamoto.jp/>

電子書籍制作日：西暦 2024 年 9 月 15 日